

科目名： テレワーク時代のマネジメント		科目コード	EB82
		単位	4
科目主査： 内藤 英俊		担当講師： 内藤 英俊	
		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☒ あり ☐ なし 個人ワーク： ☒ あり ☐ なし	
コロナ禍以降、それまで一部の企業で導入されていたテレワークが急速に一般化しました。本科目の目的は、テレワーク・オンライン時代において、組織を活性化し生産性を高めるとともに社員の人生を豊かにするマネジメント力の基盤を習得することです。授業においては、テレワークの現場で噴出しているマネジメントに関する課題を解決するための考え方やノウハウを学ぶことに主眼を置きます。			
履修の前提となる科目	☐ あり ☒ なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	ワークでは、マネジャーの立場で検討を行います。したがって、ご自身の次のような経験が課題検討に役に立ちます。①人をまとめる役割に就いた職務経験（例：バイトリーダー、現場リーダー、マネジャーなど） ②人材育成や評価に携わった経験 ③人事部や総務部での勤務経験		
テキスト	『テレワーク時代のマネジメントの教科書』高橋 豊, ダイヤモンド社, 最新版		
この科目の到達目標	①中長期の視点から、マネジメント現場で起きていることを理解している。 ②テレワーク・オンライン時代のマネジメントを成功させる3つのポイントを理解している。 ③3つのポイントを実践するための具体的な行動を理解している。		
成績評価の方法	2日間の全講義への出席を必要条件に、スクーリング終了後の最終試験の結果によって成績評価します。最終試験の得点が100点満点中60点以上であれば合格とします。発言の量・質やグループ/クラスディスカッションへの貢献度などの出席状況が良好な者については加点することがあります。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出をもって、採点対象とする。		
事後学習	他の書籍等を読んでみることで本科目の内容が深まります。		
事後学習の参考文献	『テレワークの労務管理のツボとコツがゼッタイにわかる本』寺林 顕／深江 友美／文野 陽子, 秀和システム, 2020年 『テレワーク環境でも成果を出す チームコミュニケーションの教科書』池田 朋弘, マイナビ出版, 2020年 『ジョブ型雇用社会とは何か』濱口 桂一郎, 岩波新書, 2021年 『安心社会から信頼社会へ』山岸 俊男, 中公新書, 1999年		
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ カメラ・マイクは必須となります。			